

第4次柏市生涯学習推進計画 (令和4年度進捗状況・主な事業)

第4次柏市生涯学習推進計画は、外部の有識者を含む附属機関に、計画の進捗を報告するとともに、意見を聞きながら、計画的かつ効果的に推進を図っていきます。

進捗管理及び評価については、主な事業について毎年度進捗確認を行い、中間評価では全ての事業についての進捗確認の結果から、計画への位置づけ変更や新たな事業の位置付けを含む検討を行います。

最終年度には各事業の指標達成度及び本計画の目指す方向性の観点から総合的に評価し、次期計画につなぎます。

各事業の総合評価につきましては、3段階で示しています。

総合評価	達成度
◎	かなり達成できた(80~100%)
○	ある程度達成できた／ あまり達成できなかった(50~79%)
△	達成できなかった(0~49%)

ステップごとの総合評価の分布

「はじめるきっかけ」を支援

◎	2(事業)	○	2(事業)	△	0(事業)
---	-------	---	-------	---	-------

「もっと知りたい、つながりたい」を支援

◎	2(事業)	○	7(事業)	△	0(事業)
---	-------	---	-------	---	-------

「ひろく伝えたい」を支援

◎	2(事業)	○	2(事業)	△	0(事業)
---	-------	---	-------	---	-------

情報提供による学びの支援

◎	1(事業)	○	1(事業)	△	1(事業)
---	-------	---	-------	---	-------

計					
◎	7(事業)	○	12(事業)	△	1(事業)

(20事業中)

1 「はじめるきっかけ」を支援

A あらゆる世代が参加できる様々な学びの提供

B 障害の有無，言語や時間・経済的制約に関わらず，共に学ぶ環境の充実

実現へのアブ
ローチ
(計画への位
置付け)

事業名	担当課	
・ 障害理解推進事業	障害福祉課	A,B
・ かしわフレイル予防ポイント	福祉政策課	A
・ 学校支援ボランティア	学校教育課	A
・ 夏ボラのススメ	社会福祉協議会	A,B,F

2 「もっと知りたい，つながりたい」を支援

C 団体同士・学ぶ人同士の交流

D 大学や民間事業者との連携

E より深い学びへの発展

・ 市民活動講座	市民活動支援課	E
・ 障害者活動センター運営事業	障害福祉課	C
・ 福祉喫茶コーナーの運営	障害福祉課	C
・ ママパパサロン	地域保健課	C
・ 地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	C
・ 放課後子ども教室	生涯学習課	D,E,F,G
・ 分館活用事業	図書館	C,E
・ 地域アーカイブ事業	図書館	C
・ 地域学校協働活動	学校教育課	C,D,E

3 「ひろく伝えたい」を支援

F 人材の育成

G コミュニティの育成

H 行政機関の連携

・ 地域活動支援補助金	市民活動支援課	G
・ 地域づくり事業	中央公民館	F,G
・ 地域学校協働活動推進員の養成	学校教育課	F
・ 地域いきいきセンター	社会福祉協議会	A,C,G

4 情報提供による学びの支援

・ 子育て支援情報提供事業	こども政策課	情報提供
・ 生涯学習情報提供システム	生涯学習課	情報提供
・ ライフスタイルに合わせた学習コンテンツの提供	生涯学習課	情報提供

番号	事業名	担当課
①-1	障害理解推進事業	障害福祉課
①-2	かしわフレイル予防ポイント	地域包括支援課
①-3	学校支援ボランティア	学校教育課
①-4	夏ボラのススメ	社会福祉協議会
②-1	市民活動講座	市民活動支援課
②-2	障害者活動センター運営事業	障害福祉課
②-3	福祉喫茶コーナーの運営事業	障害福祉課
②-4	ママパパサロン	地域保健課
②-5	地域子育て支援拠点事業	子育て支援課
②-6	放課後子ども教室	生涯学習課
②-7	分館活用事業	図書館
②-8	地域アーカイブ事業	図書館
②-9	地域学校協働活動	学校教育課
③-1	地域活動支援補助金	市民活動支援課
③-2	地域づくり事業	中央公民館
③-3	地域学校協働活動推進員の養成	学校教育課
③-4	地域いきいきセンター	社会福祉協議会
④-1	子育て支援情報提供事業	こども政策課
④-2	生涯学習情報提供システム	生涯学習課
④-3	ライフスタイルに合わせた学習コンテンツの提供	生涯学習課

事業名	障害理解推進事業		担当課	障害福祉課	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害の有無にとらわれず誰でも参加できる場を提供し、障害理解を育む活動に取り組む。 ・ 障害理解・啓発イベントの実施や、障害のある人が各種講座等に安心して参加できるように、手話通訳者の派遣やヒアリンググループの貸出などを行うもの。 				
計画への位置付け	A・B	主な事業の位置付け	「はじめるきっかけ」を支援		
「はじめるきっかけ」への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害の有無に関わらず参加できる場を提供することで、差別の解消を図り障害理解を深めるきっかけになる ・ 「障害」への理解促進・意識啓発を図ることで、「共生」の意識づくりのきっかけになる 				
連携・関連事業	ボランティア養成講座、読書バリアフリー法関連事業、障がい者スポーツ推進連絡会事業、障害者活動センター運営事業、福祉喫茶コーナーの運営事業、生涯学習まちづくり出前講座				
R4年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者週間期間を通じてスタンプラリー、作品展、障害理解クイズを実施するとともに、同期間内において、手話コラボコンサート、料理教室、パラリンピックメダリスト講演会&ブラインドマラソン体験会を実施 				
R3年度からの変更	有り	理由・効果	障害理解イベントはこれまでに実施したことのないイベントを企画開催し、より障害への理解が深まる場を提供した。		
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標		基準	目標(R7年度)	実績(R4年度)
	障害者理解イベントの開催件数		10件	25件	12件
	手話通訳者・要約筆記者派遣件数(延べ)		612件	770件	605件
総合評価	○	評価の理由	障害理解イベントは、参加者から好評であった。また、ヒアリンググループ貸出については、貸出場所を増設しサービス向上を図った。		

事業名	かしわフレイル予防ポイント	担当課	地域包括支援課		
事業概要	市が指定する健康づくりやボランティア活動に参加することで、本制度専用の電子マネーWAONカードにWAON加盟店で利用できるポイントが貯まる。				
計画への位置付け	A	主な事業の位置付け	「はじめるきっかけ」を支援		
「はじめるきっかけ」への効果	ポイントを貯めることをきっかけとして、健康づくりやボランティア活動により多くの市民が参加する効果が期待される。				
連携・関連事業	学校支援ボランティア、地域学校協働活動、放課後子ども教室、地域いきいきセンター、市民活動講座				
R4年度の取組	市内大型ショッピングセンターや新春マラソン等で啓発イベントを実施し周知を図った。また、ポイント付与端末を116台増設し、ポイントを付与しやすい環境を整備した。				
R3年度からの変更	無し	理由・効果	ポイント付与対象活動数と社会参加に取り組む高齢者の割合が増加した。		
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標		基準	目標(R7年度)	実績(R4年度)
	かしわフレイルポイントカード 発行枚数		2,044枚	10,000枚	20,999枚
	対象事業数		150	250	506
総合評価	◎	評価の理由	指標である「発行枚数」と「対象事業数」が、いずれも目標値を大きく上回る結果となっているため。		

事業名	学校支援ボランティア	担当課	学校教育課	
事業概要	小中学校において、地域ボランティアが参画する様々な支援活動。			
計画への位置付け	A	主な事業の位置付け	「はじめるきっかけ」を支援	
「はじめるきっかけ」への効果	できることをできるときにできる人が学校支援ボランティアを始めることにより、学校への支援につながり、自身の生きがいとなる			
連携・関連事業	かしわフレイル予防ポイント、地域学校協働活動、地域学校協働活動推進員の養成			
R4年度の取組	コロナによる活動制限が少しずつ解除され、各学校ごとに実施できる支援活動を行った。			
R3年度からの変更	無し	理由・効果	—	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指 標	基 準	目 標 (R7年度)	実 績 (R4年度)
	支援を受けた学校数	53校	63校	59校
総合評価	○	評価の理由	コロナで途切れていた支援活動を、多くの学校で再開・実施することができたため。	

事業名	夏ボラのススメ	担当課	社会福祉協議会	
事業概要	小～高校生向けボランティア活動情報誌。時間のある夏休みに特化したボランティア体験。			
計画への位置付け	A・B・F	主な事業の位置付け	「はじめるきっかけ」を支援	
「はじめるきっかけ」への効果	ボランティア体験を通じて、福祉分野に対する知識と理解を深めることができる。			
連携・関連事業	地域いきいきセンター			
R4年度の取組	65施設、39団体の協力を得て、夏ボラのススメを発行し、市内の小・中・高等学校、大学に配布、ボランティア体験への参加を促した。			
R3年度からの変更	無し	理由・効果	—	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R4年度)
	体験者数	600人	700人	543人
総合評価	◎	評価の理由	令和3年度(360人)と比べ参加者数が150%増、特に高校生の参加が多かった。また、受入施設・団体も増となった。	

事業名	市民活動講座	担当課	市民活動支援課	
事業概要	外部講師等による市民活動のためのスキルアップ講座			
計画への位置付け	E	主な事業の位置付け	「もっと知りたい、つながりたい」を支援	
「もっと知りたい、つながりたい」への効果	講座への参加を通して、市民活動団体の運営基盤の強化や団体同士の交流につながる。			
連携・関連事業	かしわフレイル予防ポイント、地域活動支援補助金			
R4年度の取組	R4年度は市民活動講座を5回開催。広報講座（HPかしわん、ぽっ？の活用）、ICT講座、助成金等資金獲得講座、まちづくり関連講座2回（柏の歴史文化を活かす、手賀沼エリアのまちづくりを考える）			
R3年度からの変更	無し	理由・効果	—	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R4年度)
	参加団体数	50団体	100団体	45団体
	参加人数	100人	150人	65名
総合評価	○	評価の理由	前年度同様、実習的な要素を重視した講座を開催した。結果、基準まで届かなかったが、各講座とも参加者からは満足度の高い感想が寄せられた。	

事業名	障害者活動センター運営事業	担当課	障害福祉課	
事業概要	教育福祉会館リニューアルに伴い、新たに設置した障害者等の社会参加及び福祉の向上を目的として、障害当事者や家族、支援者等の活動の拠点となる場			
計画への位置付け	C	主な事業の位置付け	「もっと知りたい、つながりたい」を支援	
「もっと知りたい、つながりたい」への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・障害当事者や支援者等が活動を通して、当事者間の交流や障害理解を深める ・障害者等が活動センターにおけるイベント等に参加することで、障害理解や社会参加につながる 			
連携・関連事業	障害理解推進事業，交流型講演会			
R4年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに2団体が障害者活動センターの活用開始 ・昨年度に引き続き，障害者週間における理解啓発イベントにおいて，登録団体がイベントを実施 ・各団体ともコロナ禍においても活動できる方法を検討し，センターの稼働率が向上 			
R3年度からの変更	無し	理由・効果	—	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R4年度)
	センターの稼働率	—	50%	40.0%
	センターでのイベント実施数	—	24	1
総合評価	○	評価の理由	目標値には届かないが、稼働率が向上しているため。一方で、センター以外でイベントを実施したこともあり、センターでのイベント実施回数が減少しているため。	

事業名	福祉喫茶コーナーの運営事業	担当課	障害福祉課	
事業概要	障害者雇用や就労体験，障害理解の推進を図る場となるよう，福祉喫茶の管理運営を行う			
計画への位置付け	C	主な事業の位置付け	「もっと知りたい，つながりたい」を支援	
「もっと知りたい，つながりたい」への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶コーナーで働く障害者が就労体験を通して，社会参加につながる ・喫茶コーナーを利用する方が従業員とのふれあいを通して，障害理解につながる 			
連携・関連事業	障害理解推進事業			
R4年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の就労の場として，年間約400人の障害者が利用。 ・ラコルタ柏フェスティバルへの出店を始め，ラコルタ柏で実施するイベントへの協力等を通じて，イベント参加者への周知を行った。 			
R3年度からの変更	有り	理由・効果	ラコルタ柏で実施する各種イベントへの協力を実施し，館内利用者への認知度向上を図った。	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R4年度)
	就労した障害者の数(延べ)	-	480人	406人
	喫茶利用者数(年間)	-	20,000人	19,365人
総合評価	○	評価の理由	認知度向上に伴って利用者数が増加したが，コロナ禍の影響もあり，障害者の就労の場，交流の場としての役割には課題が残った。	

事業名	ママパパサロン		担当課	地域保健課	
事業概要	産前産後サポート事業（デイサービス型）。妊娠期に必要な知識や健康づくりの啓発及び地域での子育ての仲間づくりを行う。				
計画への位置付け	C	主な事業の位置付け	「もっと知りたい、つながりたい」を支援		
「もっと知りたい、つながりたい」への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から、両親で子育て等の知識を得る機会となり、不安の解消や更なる学習意欲、両親での主体的な育児の実施につながる。 ・地域における子育て家庭の交流の機会となり、孤立予防、育児の仲間づくりにより安心につながる。 				
連携・関連事業	地域子育て支援拠点事業				
R4年度の取組	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止されていたママパパサロンを、令和4年度はオンライン形式にて再開した。妊娠24週以降の初産婦とそのパートナーを対象者とし、年4回開催した。内容としては、助産師、栄養士、歯科衛生士の講話と、ビデオ鑑賞、先輩ママパパへの質問、柏市の子育て支援事業や母子保健事業の紹介を実施した。				
R3年度からの変更	有り	理由・効果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大下でも、初産婦とそのパートナーが妊娠出産について学び、他の妊産婦及びパートナーと交流できる機会を設けるため。		
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標		基準	目標(R7年度)	実績(R4年度)
	参加人数		288人	480人	161人
	知り合いになれた割合 (アンケート)		20%	25%	0%
総合評価	○	評価の理由	オンラインで開催したため、参加者同士の交流の機会が難しかった。そのため、子育て支援拠点を利用している先輩ママパパの中継を取り入れ、地域の資源の活用につながる内容を取り入れた。		

事業名	地域子育て支援拠点事業	担当課	子育て支援課	
事業概要	地域ぐるみの子育て支援。育児講座や子育て等に関する相談、子育て親子の交流及び子育て関連情報提供の場			
計画への位置付け	C	主な事業の位置付け	「もっと知りたい、つながりたい」を支援	
「もっと知りたい、つながりたい」への効果	子育ての当事者である乳幼児の保護者同士が支え合い、子ども同士も育ち合う関係をつくることができる。			
連携・関連事業	みんなの子育て広場、ママパパサロン			
R4年度の取組	新型コロナウイルス感染予防のため、予約制等で利用人数の制限を設けて実施したが、地域子育て支援拠点単独の施設は、はぐはぐひろば沼南・はぐはぐひろば若柴ともに、前年度同水準の利用があった。			
R3年度からの変更	無し	理由・効果	令和3年度から引き続き、利用人数の制限を設けて実施している	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R4年度)
	はぐはぐひろば利用者数	29,616人	31,896人	31,246人
総合評価	◎	評価の理由	コロナ禍でも、できるだけ多くの方が利用できるよう、イベントの回数を増やすなど工夫し、利用者数を伸ばしたため。	

事業名	放課後子ども教室		担当課	生涯学習課
事業概要	地域ボランティア等の参画による小学校の余裕教室を活用した放課後の学習支援等を行う他、夏休み中は学校や企業等との連携による体験講座を実施			
計画への位置付け	D・E・F・G	主な事業の位置付け	「もっと知りたい、つながりたい」を支援	
「もっと知りたい、つながりたい」への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や地域団体等が小学生の放課後活動の支援に継続的に関わることで学校との連携につながる ・学習支援等に参加するボランティアは、活動を通して子どもとの関わり方に対する興味が広がる 			
連携・関連事業	地域学校協働活動、青少年教育事業、地域アーカイブ事業、かしわフレイル予防ポイント			
R4年度の取組	補充学習「ステップアップ学習会」に加え、体験活動「夏休み子ども教室」を実施した。また、地域との関わりの中で幅広い体験や経験ができ、児童の居場所となる活動を拡充するため、夏休みに体験型の事業をモデル校で実施した。			
R3年度からの変更	有り	理由・効果	子ども達の安全安心な放課後の居場所を実現するため、モデル校で体験型の夏休み子ども教室を実施した。	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R4年度)
	参加児童数(延べ)	45,000人	56,000人	35,829人
	参加ボランティア数(延べ)	8,000人	10,000人	6,986人
総合評価	○	評価の理由	ステップアップ学習会は、昨年度より実施校は増えたが、全校実施は達成できなかった。 今後は、子どもがゆるやかな見守りの中で自由に過ごすことのできる居場所の拡充に向けて事業を展開していく。	

事業名	分館活用事業	担当課	図書館	
事業概要	図書館分館を地域の情報拠点・交流の場として活用する。			
計画への位置付け	C・E	主な事業の位置付け	「もっと知りたい、つながりたい」を支援	
「もっと知りたい、つながりたい」への効果	人と人がつながることで、新たな価値がうまれたり、新たな創造活動が期待される。			
連携・関連事業	交流型講演会、地域いきいきセンター、地域づくり事業			
R4年度の取組	地域情報コーナーがある既存館の更新に注力し、永楽台分館では、永楽台地域と福島県只見町の交流40周年やJR只見線運転再開もあり、福島県只見町について情報コーナーを3回更新した。			
R3年度からの変更	無し	理由・効果	地域の再発見や地域住民の交流、地域への愛着などの醸成につながった	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R4年度)
	対象とする分館数(延べ)	-	10館	3館
総合評価	○	評価の理由	地域情報コーナーについては、新設を検討したものの設置には至らなかったが、既存館（高柳、永楽台、増尾）の地域住民や団体との協働・連携を進めることで、既存コーナーの更新だけでなく、次年度の取組への下地作りができた	

事業名	地域アーカイブ事業	担当課	図書館	
事業概要	柏市を創ってきた近現代の活動を記録した地域資料や、市内でのみ流通する発行物など、いま収集しなければ失われてしまう資料等を収集し、整理・保存していく。			
計画への位置付け	C	主な事業の位置付け	「もっと知りたい、つながりたい」を支援	
「もっと知りたい、つながりたい」への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・世代交代等で失われてしまう地域資料や情報等を地域で共有していくことで、地域への愛着が生まれることが期待される。 ・個人の持つ知識や体験が事業活動を通じて共有されることで、更なる学びに繋がることを期待される。 			
連携・関連事業	交流型講演会、放課後子ども教室、地域づくり事業			
R4年度の取組	地域情報コーナーがある永楽台地域の「ふるさと協議会」や増尾地域の「民話の里づくりプロジェクト」、高柳地域の「かるたプロジェクト」だけでなく、学校への提供を前提としたデジタル教材の作成において、「美しい手賀沼を愛する市民の連合会（美手連）」とも連携を深めた。			
R3年度からの変更	無し	理由・効果	地域住民との協働・連携を進めることができた	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R4年度)
	活動に関わった人数(延べ)	-	100人	73人
総合評価	◎	評価の理由	新型コロナウイルスの影響から回復しつつある中で、地域住民との協働・連携を徐々に再開することができた	

事業名	地域学校協働活動	担当課	学校教育課	
事業概要	幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動			
計画への位置付け	C・D・E	主な事業の位置付け	「もっと知りたい、つながりたい」を支援	
「もっと知りたい、つながりたい」への効果	学校で子供たちの成長のために、地域が学校に関わることにより、地域が学校の様子を知り、学校での活動を通じて、活動する人同士がつながる			
連携・関連事業	放課後子ども教室、かしわフレイル予防ポイント、こずっち会議、みんなの子育て広場、学校支援ボランティア、地域学校協働活動推進員の養成			
R4年度の取組	各学校運営協議会委員を通して、地域の方に依頼し、活動を実施。			
R3年度からの変更	無し	理由・効果	—	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R4年度)
	学校運営協議会での話し合いから地域学校協働活動につながった学校数	0校	63校	34校
総合評価	○	評価の理由	コロナで途切れていた地域とのつながりを再構築し、従来からある地域学校協働活動に加え、各校できることに取り組めたため。	

事業名	地域活動支援補助金	担当課	市民活動支援課	
事業概要	地域活動や地域課題の解決を図ろうとする団体の支援			
計画への位置付け	G	主な事業の位置付け	「ひろく伝えたい」を支援	
「ひろく伝えたい」への効果	地域活動や地域課題の解決を図ろうとする団体を支援することで地域内のコミュニケーションが活性化し、よりよいコミュニティの醸成につながる。			
連携・関連事業	市民活動講座			
R4年度の取組	コロナ渦で町会活動の自粛を余儀なくされたが、『コロナ渦でも出来ること・コロナ渦だからこそ出来ること』の考えが新出し、活動を再始動した町会も少なくない。地域の現状やニーズを知るために当補助金を通じた町会活動の支援だけでなく団体との意見交換会を実施した。			
R3年度からの変更	有り	理由・効果	コロナ渦でICT分野の需要が高まった。町会活動をより支援するべく応募事業分野を追加した。	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R4年度)
	補助団体数	12団体	12団体	8団体
総合評価	◎	評価の理由	応募数及び問い合わせが増加傾向にあり、分野の追加が町会活動のニーズに応えることが出来たと考えるため。	

事業名	地域づくり事業	担当課	中央公民館	
事業概要	地域が抱える様々な課題を，専門的な視点から掘り下げ関心を高め，課題解決に役立てる。			
計画への位置付け	F・G	主な事業の位置付け	「ひろく伝えたい」を支援	
「ひろく伝えたい」への効果	地域が抱える様々な課題への取り組みの過程と成果をひろく伝えていくことで，取り組みに参加していない方々の今後の参加や，取り組みを行っていない地域へ取り組みの魅力をアピールする。			
連携・関連事業	地域アーカイブ事業，分館活用事業，地域いきいきセンター，地域学校協働活動推進員の養成			
R4年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・風早南部地域：風早南部かるた ・酒井根地域：植えて育てて花いっぱいマイガーデン（フォローアップ） 			
R3年度からの変更	無し	理由・効果	地域課題について，地域の方々等と連携しながら事業を実施した結果，地域の自主活動につながってきている。	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R4年度)
	取組を行っている地域(延べ)	1地域	6地域	2地域
総合評価	○	評価の理由	地域の歴史や文化の継承活動や，地域課題である花壇整備活動の人材育成などを重視し取組みを進めた結果，目標に向かい自主的に考え行動する地域の方々の様子や活動が確認できるようになったため。	

事業名	地域学校協働活動推進員の養成		担当課	学校教育課	
事業概要	小中学校において、地域ボランティアが参画する様々な支援のまとめ役の育成。学校と地域をつなぐ役割を担う。今後、地域学校協働本部が立ち上がった際には、より広い活動を行う推進員が学校と地域の協働を支えていく。				
計画への位置付け	F	主な事業の位置付け	「ひろく伝えたい」を支援		
「ひろく伝えたい」への効果	地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員を養成することにより、より多くの学校の情報が、より多くの地域の方へ届き、学校支援を始めるきっかけとなり、継続的に学校と地域の協働を支えることができる				
連携・関連事業	地域づくり事業、学校支援ボランティア、地域学校協働活動				
R4年度の取組	地域学校協働活動推進員養成講座を実施（年2回）。 推進員候補者に向け、推進員としての役割や協力依頼等を行った。				
R3年度からの変更	無し	理由・効果	—		
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R4年度)	
	推進員の委嘱数	—	26人	0	
総合評価	○	評価の理由	前年度に養成講座を開催していないため推進員の委嘱はできなかったが、養成講座は開催できたので、次年度以降の活躍が期待される。		

事業名	地域いきいきセンター	担当課	社会福祉協議会	
事業概要	地域づくり・子育て・障害者・高齢者支援等の充実を図るため、近隣センターを拠点として、身近な福祉の相談窓口を設置する。			
計画への位置付け	A・C・G	主な事業の位置付け	「ひろく伝えたい」を支援	
「ひろく伝えたい」への効果	複合的な生活課題の悩みについて、市民が気軽に相談に行くことができる場所が増える。			
連携・関連事業	分館活用事業，地域づくり事業，かしわフレイル予防ポイント，夏ボラのススメ			
R4年度の取組	9か所目のセンターとして、増尾地域いきいきセンターを新たに開設した。また次年度10ヶ所目の新規開設に向け、地域への説明等準備を進めた。			
R3年度からの変更	無し	理由・効果	—	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R4年度)
	設置数	7	12	9
総合評価	◎	評価の理由	予定通り年に1ヶ所ずつの新規開設が進み、市民にとって身近な相談窓口が増えている。	

事業名	子育て支援情報提供事業	担当課	こども政策課	
事業概要	子育てに関する制度やイベント、支援団体情報などを子育てサイトやLINE及びInstagramで発信			
計画への位置付け	情報提供	主な事業の位置付け	情報提供による学びの支援	
情報提供による学びの支援への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・孤立化や、子育てに悩む保護者の不安や負担等の軽減。 ・イベント等を通じ地域間でつながりを持つことで生まれる子どもへの健全な育ち・成長。 			
連携・関連事業	生涯学習情報提供システム			
R4年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・はぐはぐ柏については、子育て世帯向けの新型コロナウイルス感染症情報などを集約したページの随時更新を行いながらサイトの利便性向上を図った。 ・「はぐはぐ柏公式LINEアカウント」については、令和5年3月31日時点で登録者数7,783人（前年比+1,324人）。コロナ情勢が落ち着いてきたことにより再開したイベント・事業等の配信を行った。 ・令和4年9月より「はぐはぐ柏Instagramアカウント」を開設、令和5年3月31日時点でのフォロワー数1,094人。Instagramの特徴を活かし、柏市の子育て情報やその魅力について、写真や動画を中心とした視覚的な配信を行った。 			
R3年度からの変更	有り	理由・効果	令和2年度に実施したアンケートで、子育て情報をInstagramで得ているという回答が4割と最も多かったことから、子育てに特化したInstagramを新規開設した。	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R4年度)
	子育て情報サイト「はぐはぐ柏」PV数	1,633,294PV	2,200,000PV	1,898,759PV
	「はぐはぐ柏」LINE公式アカウント登録者数	3,802人	9,660人	7,783人
総合評価	◎	評価の理由	はぐはぐ柏閲覧目標数の達成率が約86.3%となっており、達成はしていないものの、基準値に対しては約116.2%であり、またLINEについても、目標数に対する達成率が約80.5%と達成はしていないが、登録者数が前年度比約20.4%の伸び率となったため。さらにInstagramアカウントを新たに開設し、複数の媒体から情報の発信を行うことができたため、評価としてはAとした。	

事業名	生涯学習情報提供システム		担当課	生涯学習課	
事業概要	柏市内（近隣市）の生涯学習に関する情報（講座・イベント、団体等）を探したり、掲載したりできるサイト。官民間問わず情報を提供				
計画への位置付け	情報提供	主な事業の位置付け	情報提供による学びの支援		
情報提供による学びの支援への効果	多くの市民が閲覧しやすい情報を提供することで、生涯学習活動を活性化させ、コミュニティ形成の一助とする				
連携・関連事業	子育て支援情報提供事業				
R4年度の取組	市民の生涯学習活動支援を目的として、公共団体・大学・民間事業者・サークルなどの講座・イベント情報、生涯学習ボランティア情報、家庭教育関係情報などをHPにより発信した。				
R3年度からの変更	無し	理由・効果	—		
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標		基準	目標(R7年度)	実績(R4年度)
	閲覧数		90,000件	100,000件	85,700件
	新規情報提供数		—	120件	186件
総合評価	○	評価の理由	閲覧数が伸び悩んでいるものの、新規情報提供数は目標数を超えていることから、今後は利用者が必要な情報を探しやすいHPの構成・表示方法等の検討が必要である。		

事業名	ライフスタイルに合わせた学習コンテンツの提供	担当課	生涯学習課	
事業概要	公民館・近隣センター等における受講，自宅でのPC受講など，さまざまなツールを利用できる学習コンテンツの提供と情報提供を行うことにより，ライフスタイルに合わせた学習機会を拡充する。			
計画への位置付け	情報提供	主な事業の位置付け	情報提供による学びの支援	
情報提供による学びの支援への効果	ライフスタイルに合わせた多種多様な学習機会を提供することで，個々人の学習活動を支援し，自己実現を図れる環境を整える			
連携・関連事業	—			
R4年度の取組	生涯学習に関わる個々の事業や研修等で対面とzoomを活用したオンライン配信とのハイブリッド開催など新しい生活様式に即したコンテンツの提供が実施されている。			
R3年度からの変更	無し	理由・効果	—	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R4年度)
	提供数	—	1以上	—
総合評価	△	評価の理由	コロナ禍で，既存のメニューのオンラインへの置き換えやハイブリッド化が進みましたが，生涯学習課が主導したライフスタイルに合わせた学習コンテンツの提供は出来ていない。市民ニーズが高いと想定される学習コンテンツをアウトリーチし，学習の間口を広げる取組を推進できるよう検討を進める。	